

令和6年度 学校総合評価

6 今年度の重点目標に対する総合評価

＜学習・進路面＞ 「自主的・意欲的な学習態度の育成と学習時間の確保」「進路目標の早期明確化と実力養成についての効果的な手法の確立」「組織的かつ計画的な生徒の実態把握の推進」を重点課題として取り組んできた。普通科では、平日2時間以上の家庭学習時間の確保を目標とし、生徒が自主的かつ意欲的に家庭学習に取り組むように、学習時間の記録や授業アンケート、調査結果等を踏まえ、担任・副担任を中心に定期的な面談を行うことで家庭学習の意義や必要性を促してきた。また、学習意欲の向上を目的に、普段からICT機器を活用するほか、今年度は他教科の授業にも参観できるようにした互見授業を通して効果的な指導方法を研究し、授業改善に努めている。6月と11月の調査結果を比べると学習習慣が定着した生徒が増えてきているが、2学年においては、やや11月の方が低くなっている。また、3学年の達成割合が低く2学年を下回ったこともあり目標を達成することができなかった。専門学科では、各科を中心に資格取得に向けて、例年と同じように丁寧かつ綿密な指導を行ったが、合格率は昨年度をやや下回った。

＜生活面＞ 本校では「生活あつての学習」という観点からこれまで、基本的生活習慣の定着を図る指導を行ってきた。今年度は「SNS等の正しい使い方」「挨拶の励行と制服の品位ある着こなし」「部活動の活性化」「ホームルーム活動の充実」を重点課題として取り組んできた。SNSの利用については、学年集会やホームルームにおいて指導しているが、今年度からは生徒会が「スマホのルール作り」に取り組み、アンケート等を行っている。また、制服の品位ある着こなしについては、昨年度から新制服となり、夏服冬服ともに着こなしの自由度が増したが、具体的な着こなし方を図示し、1学年には「着こなし講座」を行い、ソーシャルスキルや礼儀を学んだことでほとんどの生徒は指導されることなく、爽やかな着こなしができています。学校評議員の方からも、「着こなし講座」を通して生徒自ら考える場があることは素晴らしいとの意見をいただいた。部活動においては、リーダーを育成することに重点をおいたため、部活動に対する自己達成度が目標を上回った。また、ホームルーム活動では、クラスによって活動に差があり、充実度は目標値に至らなかった。

＜その他＞ 「図書館利用の活性化」については、図書委員が中心となってクラスミニブリオバトルを行い生徒の本に対する興味関心を促し、「黒部市立あお一よ図書館」で図書委員の研修を行うなど、図書委員の資質向上と活動の充実化を図ったが目標の達成には至らなかった。「2学年研修旅行の充実」については、大学や企業を訪問し研修を受けたことや本校の先輩との懇談の時間を設けたことで今後の進路を決めていく上での視野を広めることができた。

以上より、総合的評価としては、各分掌において教職員の意識的な取組みが行われ、やや昨年より達成目標には到達できなかったが、学校評議員の方からは一定の評価が得られたものとする。

7 次年度へ向けての課題と方策

次年度以降の課題としては今年度と同様、「自主的・意欲的な学習態度の育成」と「基本的生活習慣の定着」を核としながら今年度の現状と本校のスクールポリシーに即し、次のことが挙げられる。具体的な計画は全教職員で論議し、進めていくことにする。

- ① 生徒の正確な学力の分析と基礎学力の定着及び学力の向上
- ② 生活実態調査や生徒との面談に基づく各生徒の学習量や生活状況の把握及び生徒への支援
- ③ 進路目標の設定への早期意識付けと、目標達成への強い意欲の醸成
- ④ 学習と部活動との両立を目指す生徒の割合が高まる指導
- ⑤ 生徒会活動、ホームルーム活動、部活動等を通じた主体的、自主的な行動ができる生徒の育成